
ヤンデレ百合少女2（ヤンデレ妹 百合の続編）

璃琥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヤンデレ百合少女2（ヤンデレ妹 百合の続編）

【Nコード】

N2240H

【作者名】

璃琥

【あらすじ】

<http://ncode.syosetu.com/n1869h/>↑の続編みたいなもの（笑）

昼、春菜の家

「夏美ちゃん・・・」

「何？春菜」

「大好き・・・」

「私も、春菜のこと、大好きだよ」

「うん・・・」

「今日ね、親が二人とも旅行行ってるんだ。だから、この家に泊まれるから、泊っていい？」

「うん、いいよ。」

「それじゃあ、渚に電話しとくね」

夏美が携帯電話をとりだし、電話をかける。

「あ、もしもし。・・・うん、私、夏美よ」

・・・

「今日ね、春菜ちゃん家に泊まるから」

・・・

「うん、戸締りしときなさいよ。それじゃあ」

携帯を切る。

「うん、いいってさ」

「やった・・・それじゃあ、今日の夜は二人きりだね」

「うん。アレやろうね」

夜

「春菜・・・好き・・・」

「うん」

春菜と夏美が唇を重ねる

「私は、一生夏美といたい」

「・・・うん」

「安心して、私たちの邪魔するものは、もういないから」

「え!？」

「だから、私たちの邪魔をする人たちはもう、この世にいないから。」

「え?・・・何言ってるの?」

「昨日ね、二人も殺しちゃったんだ・・・」

「誰を・・・?」

「まなみちゃんとはるかちゃん」

「なんで、あの二人を!？」

「だって、あの子たち、夏美ちゃんをとろうとして・・・」

「あの子たちは、私の友達ただけだよ・・・」

「違う。あの子たちは、夏美を私からとろうとした。」

「本当に?・・・」

「本人がそう言ってたんだもん」

「あの子たちが!？」

「うん。だから、私、二人を殺したんだ」

「そんな、殺さなくても」

「だって、むかつくだもん」

「だからって」

「すごく残酷な方法で殺したんだよ。すごく痛そうな顔してた・・・」

「そんな・・・」

「でも、私たち、ずっと一緒になるには、そうするしかなかったの・・・許して」

「許せないよ・・・いくら私の大好きな春菜でも・・・人を殺すな」

んて」

「そんな・・・」

「警察に言いに行こう！ちゃんと話せば・・・」

「いやだよ。せっかく殺したんだよ。一緒にいたいよ」

「私は、人を殺してまで、春菜と一緒にいたくないよ・・・」

「え？・・・」

「い、いや、春菜と一緒にいたいんだけど・・・人を殺してまでは・・・」

」

「そう・・・」

「・・・」

「春菜・・・？」

「もう、夏美は私のこと嫌いだよね？」

「嫌いじゃないわよ」

「だって・・・私人殺しだから・・・」

「・・・」

「ごめんね」

「たしかに人を殺すのはいけないことだよ。でも、罪を償えば・・・」

」

「私は、夏美と一緒にいたい・・・」

「だから、警察に行って、罪をつぐなってから・・・」

「それじゃあ遅いよ」

「そんなこと・・・」

「夏美ちゃんを殺して、私も一緒に死ぬ」

「え！？」

「そしたら、ずっと一緒にいれるでしょ・・・」

「そんな・・・」

「夏美ちゃん、大好きだよ」

「！？」

春菜が隠し持っていた、包丁がなつみの腹を刺した。

「夏美ちゃんに会えてよかった・・・私を助けてくれてありがとう。」

」

「春菜………」

なつみが床に崩れ落ちた。

春菜が自分の心臓にむかって包丁をさした。

そして、春菜が床に落ちて、夏美の手を握りながら

「ずっと一緒だよ」

といった

そのあと、春菜だけ、包丁を刺したところがよく、奇跡的に助かった。

病院の一室

「夏美……」

春菜が一人つぶやく……

「私だけ生きちゃったよ……ごめんね……もうすぐ行くから……
・ちよっただけ待ってて」

春菜は自分で周りにある医療機器を外し、屋上に上った。

「夏美ちゃん、もうすぐ行くよ。ずっと一緒になろ」
春菜が飛び降りた・・・

(後書き)

なんか変な感じになっちゃた(笑)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2240h/>

ヤンデレ百合少女2（ヤンデレ妹 百合の続編）

2010年11月12日11時12分発行